

POST CARD

料金受取人払郵便

千葉中央局承認

378

260-8790

《受取人》

千葉市中央区中央3-13-17

蘇我石炭火力発電所計画を考える会 行

差出有効期間
2019年12月
31日まで

切手をお貼りいた
だけましたら大変
助かります。



ご意見がありましたらお書きください



石炭火力発電 蘇我に 本当に必要？

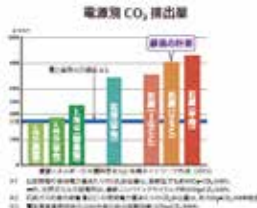
蘇我スポーツ公園のすぐ隣で
石炭火力発電所計画があります。
このままでは計画がどんどん進んでしまうかもしれません。
私たちの声をもっと市長や事業者へ届けましょう！

(仮称) 蘇我火力発電所建設計画 事業の概要

事業社名	千葉パワー株式会社	運転開始(予定)	2024年
出資者	中国電力(株)、JFE スチール(株)	CO ₂ 排出量	642万トン・CO ₂ /年 * 推計
住所	千葉県千葉市中央区川崎町1番地	SO ₂ 排出濃度	20ppm
設備容量	107万kW	NO _x 排出濃度	15ppm (石炭専焼時)
燃料	石炭 + 副生ガス	ばい煙濃度	5mg / m ³ N

問題1 気候変動を加速

蘇我で計画中の技術は、「超々臨界圧(USC)」で、「最新型高効率発電」とされていますが、高効率のLNG火力発電と比較して約2倍のCO₂を排出します。これは気候変動に取り組む世界的な枠組み「パリ協定」に逆行します。



問題2 大気汚染・温排水・石炭灰

石炭火力発電所からは硫黄酸化物(SOX)や水銀が排出されます。SOXは呼吸機能に影響を及ぼし、眼の粘膜に刺激を与えるほか、酸性雨の原因物質の一つでもあります。また石炭は、より多くの窒素酸化物、ばい塵、PM2.5等を排出します。石炭や石炭灰の搬出港は蘇我スポーツ公園に近く、作業時に出る汚染物質の影響も心配です。

気候ネットワークとグリーンピース・日本の共同プロジェクト「石炭汚染マップ」
PM2.5/7月 蘇我石炭火力発電所稼働時予測



問題3 川鉄公害のおおぞら裁判をおぼえていますか？ 今でも粉じんに苦しんでいるのに・・・

事業の目的は「低廉な石炭を燃料にして、競争力のある電力を生み出す」ものです。つまり大規模な商圏である首都圏に電力を販売するという経済合理性だけを追求した計画なのです。



JFE スチールの原料ヤードの一部。広大な土地に石炭・鉄鉱石・スラグ等が大量に野積みされている。

千葉市長 熊谷 俊人様
経済産業大臣 世耕 弘成様
環境大臣 中川 雅治様
千葉県知事 鈴木 栄治様

(仮称)蘇我火力発電所建設計画の中止を事業者に働きかけることを求める署名

千葉市中央区川崎町1番地(J F E スチール (株) 東日本製鉄所 (千葉地区) 構内) に石炭火力発電所 (出力 107万 kW、事業主体は千葉パワー株式会社) の建設が計画されています。石炭火力発電所は、多量の二酸化炭素を排出するだけでなく、窒素酸化物や硫酸酸化物、さらには水銀等重金属などの大気汚染物質を排出し、海域や河川では温排水による影響も懸念されます。

建設予定地の千葉市中央区蘇我地区では、長い間製鉄所からの大気汚染物質により喘息(ぜんそく)などの健康被害で多くの市民が苦しんできており、1975年、「子どもたちに青空を」求めて地域住民と市民が提訴した「おおぞら裁判」は、いまだ市民の記憶にも鮮明に残っています。

現在でもばいじんや粉じんによる被害が千葉市役所や事業者への苦情となっており、公害は解決されておりません。さらに環境負荷の大きい石炭火力発電所が建設されることは地域住民にとって到底受け入れられるものではありません。

地球温暖化防止の視点からも、また市民の健康を守るためにも、石炭火力発電所の建設計画の中止を事業者に働きかけるよう強く求めます。

※千葉パワー株式会社は、JFE スチール (旧川崎製鉄) と中国電力による特別目的会社です。

氏名	住所

千葉県以外の方でも結構です。ご家族やお知り合いにもご協力をお願いいたします。

呼びかけ団体 蘇我石炭火力発電所計画を考える会

〒260-0013 千葉市中央区中央 3-13-17 電話090-7941-7655 集約/2019年1月31日